



ま え む き に
ひ た む き に
純 情 産 地
い わ て

特集

純情産地いわてブランドプロミス

Vol.1

全国にアピールするための ブランド「純情産地いわて」

私たちJA全農いわては、30年以上の歴史を持つ「純情産地いわて」ブランドのもと、岩手県産農畜産物の消費拡大に取り組んできました。「純情産地いわて」は、岩手県産農畜産物の優れた品質を全国に広くアピールするために作られたブランドで、その名称は「純朴」な生産者が「情」を込めて農畜産物を作っている産地という意味でつけられました。この大事に使用してきた「純情産地いわて」を再定義して発展させることを目的に、令和3年4月に「まえむきにひたむきに純情産地いわて」のキャッチコピーとブランドプロミスを制定しました。制定から5年目となる今年度は、キャッチコピーやブランドプロミスに込められ

た想いなどについて数回に分けて特集でお伝えしていきます。5月号では、キャッチコピー制定までの背景についてお伝えします。

若手職員を中心とした ブランドの再構築の試み

本会は、平成元年から30年以上にわたって「純情産地いわて」ブランドで岩手県産農畜産物のイメージアップや消費拡大に取り組み、関係者の努力により一定の認知度を得られるようになりました。しかし30年以上という長い間使用される中で、農業を取り巻く環境の変化や職員の代わりなどで「純情産地いわて」の定義が曖昧になりつつある状況にありました。そこで、これまで大事に使用してきた「純情産地いわて」というブランドを今後

は、「純情産地いわて」という言葉を使用する職員が明確な定義を持つ必要があると考え、令和元年に各部門の若手職員によるプロジェクトチームを結成し、「純情産地いわて」の定義づけを行うことにしました。しかし、その作業の中では、「純情産地いわて」の定義について自信をもつて説明できる職員がいないことや、各部門で「純情産地いわて」に対するイメージが異なることが明らかになりました。そのような状況を踏まえて、プロジェクトでは、複数回のワークショップで協議を行い、ブランドを見直すことにより、岩手県産農畜産物のファンを増やすことに加えて、職員のモチベーション向上や、生産者やJAとの一体感を醸成することを目指し、本会が目指すべきゴールと、「純情産地いわて」らしさを以下のように整理しました。

JA全農いわての 目指すべきゴール

- ・消費者に「選ばれ続ける」品質・価値を提供し続けること。
- ・生産者の想いをくみ取り、生産者のための組織であり続けること。
- ・岩手の農業・生産者を守り続けること。
- ・農業・食の持続的な発展に寄与すること。

「純情産地いわて」らしさ (岩手らしさ・全農らしさ)

- ・品目が多彩な県であること。
- ・農畜産物の高付加価値化を担う組織であること
- ・岩手農畜産業の持続性を維持し、永続的な発展への努力をすること。
- ・「農畜産物の提供」から「食文化



プロジェクトチーム結成 ワークショップ実施

「純情産地いわて」として 訴求すべきことを整理

① ブランドプロミス

厳しくも豊かな自然に育まれ、色とりどりの価値を生み出す岩手の農業。それは、この地に生きる生産者のひたむきな想いに支えられています。私たちは、生産者とともに、その想いを消費者の食卓へとひろげ、岩手の農業を継承し、価値を高め、未来へつなげます。また、私たち自身も地域社会の一員として、強く根を張り、岩手の未来をまえむきに支え続けます。
「つなげる」「ひろげる」「根を張る」これが、私たちJA全農いわての約束です。

② ロゴマーク



ま え む き に
ひ た む き に
純 情 産 地
い わ て

「純情産地いわて」ブランドの 定義づけ

- ・「純情」の解釈＝真面目で真剣に物事に取り組む県民性であること。
- ・組合員のために存在する協同組合組織であること。

ブランドプロミスと ロゴマークの策定

これらの約束をブランドプロミスとして設定し、「JA全農いわてが目指す理想像」をステークホルダーに対して広く周知し愛着を感じてもらふこと、また、本会職員の業務指針とすることを目的に、わかりやすい一つの文章に落とし込むことにしました。その際、普段目にされる「ロゴマーク」と一体となったものとなるよう、「まえむきに ひたむきに 純情産地いわて」のキャッチコピーが付されたロゴマークを考案しました。

今回は、ブランドプロミスやロゴマークに込められた意味についてお伝えしていきます。

生産者 岩手県の農業の発展・継承と、生産者のための組織であることを約束します。

約束

みどり戦略

ビジョン

令和6年度のJAいわてグループ・みどり戦略ビジョンの取り組み総括

ニユールの達成度は「目標を達成できなかった」となりました。

● 取り扱い方法が難しい資材もあり目標に届かないメニユーもありましたが、2年目である令和6年度も初年度とほぼ同じ20メニユーの目標を達成できており、「目指す姿」に向かって前進できていると感じております。

● 3年目となる令和7年度は、JAと一体となり目標達成に向けて取り組みを継続するとともに、次を見据えたメニユー項目や目標設定により取り組みの深化を図ってまいります。また、農林水産省の「見える化ラベル」やJクレジットといった仕組

みの活用を検討することで、成果の明確化を図ってまいります。くわえて、GHG（温室効果ガス）排出量削減の数値化に向けたシステムの活用も検討してまいります。

● 消費者や取引先に対しましては、「みどり戦略ビジョン」の3本の柱「脱炭素」「環境保全」「持続可能な農業生産」の実現に向けた本県の農畜産物生産の取り組みを、引き続き発信強化してまいります。

● 純情産地いわて・みどり戦略ビジョン 達成度（令和6年度）

● 達成度 A: 目標を超えた B: 概ね目標を達成できた C: 目標を達成できなかった

メニユー	達成度
1 土壌診断による適正施肥	B
2 耕畜連携による資源循環	B
3 水稻栽培における「秋耕」の実施、またはそれに準じた取り組み実施	B
4 園芸施設へのヒートポンプの導入	B
5 特別栽培や省農薬・省化学肥料による生産	B
6 ネオニコチノイド系の従来殺虫剤を極力使わない防除体系の検討	B
7 有機農業に向けた取り組み支援	B
8 農業用プラスチックの排出抑制	B
9 集約的園芸生産施設の設置	B
10 集乳事業の一元化	B
11 牛の健全育成	B
12 再生可能エネルギー設備の設置促進	B
13 「Xarvio(ザルビオ)」の活用	B
14 IPM基本防除体系の実践	B
15 環境モニタリング機器等の導入促進	B
16 省力化器具・手法の活用促進	B
17 Z-GISの利用促進	B
18 V-NeKHsの活用促進	C
19 生分解性マルチの活用	C
20 効率的な輸送体系の確立	B
21 GAPへの取り組み	B
22 取り組みの発信	B

● 各事業部プロミス活動 ●

「純情産地いわて」が目指す「理想像」その3つの柱。

「つなげる」

いわての農業を継承し、
価値を高め、
未来へ繋げる。



岩手県 乳質改善大賞

令和7年2月26日（水）

2月26日（水）岩手県乳質改善協議会（JA全農いわて事務局）が主催する「令和6年度岩手県乳質改善大賞表彰式」が、盛岡市で行われました。今年度は過去最多の28人が大賞を受賞し、うち13人が初受賞しました。



「令和6年度岩手県乳質改善大賞表彰式」受賞者

いわて純情りんご コンテスト

令和7年3月11日（火）

3月11日（火）本会が主催する「2024いわて純情りんごコンテスト」の表彰式が北上市で行われました。式には、受賞者や審査委員、各JA関係者などおよそ30名が出席し、受賞者には賞状と盾が贈られました。



「2024いわて純情りんごコンテスト」受賞者

「ひろげる」

生産者とともに、
その想いを
消費者の食卓へと
広げる。



「いわて純情米」アンバサダーに 菊池雄星投手就任

令和7年3月10日（月）

令和7年3月より、MLB ロサンゼルス・エンゼルス菊池雄星投手を「いわて純情米アンバサダー」に起用しました。3月10日（月）に盛岡市内でアンバサダー発表会を行い、本県で撮影した新CMをお披露目しました。菊池投手もアメリカからビデオメッセージを寄せ「いわて純情米の魅力発信しているよう、そしてたくさんの方に食べていただけるよう、JAいわてグループの皆さんと一緒に盛り上げていきます」と意気込みを語りました。披露された新CMは「此処から、強くなるために」をコンセプトに制作され、菊池投手がプロデュースする岩手県花巻市の複合野球施設「King of the Hill（K.O.H.）」で撮影した「岩手から篇」と、アメリカ・アリゾナ州で撮影した「アメリカから篇」があり、岩手県内のほか全国でも放映を予定しています。



菊池雄星「岩手からA」編

「根を張る」

地域社会の
一員として、
強く根を張る。



岩手県スポーツ少年大柔道大会

令和7年2月16日（日）

盛岡市の岩手県営武道場で2月16日（日）、JA全農いわて純情産地いわて杯 第47回岩手県スポーツ少年団柔道大会が行われました。本会は、2017年からこの大会に特別協賛をしており、本大会では入賞者に授与するカップのほか、副賞の「いわちくハム詰め合わせギフト」「いわて牛サーロインステーキ」、県産米「銀河のしずく」、参加賞として200ミリのパック牛乳とスタンプバックを出場者全員に提供しました。



第47回岩手県スポーツ少年団柔道大会の様子

『牛乳大すき』絵のコンクール表彰式

令和7年3月2日（日）

3月2日（日）岩手県牛乳普及協会が主催する第34回小学生による「牛乳大すき」絵のコンクール表彰式が盛岡市で行われました。同コンクールは、子どもたちに酪農に関心を持ってもらうことを目的に開催され、今年度は県内67校から318名の応募があり、18作品が入賞しました。表彰式では高橋県本部長から受賞した児童一人ひとりに賞状や盾が手渡されました。



『牛乳大すき』絵のコンクール表彰式受賞した児童ら

岩手県産和牛とお米のフェア

銀河のしずく

岩手県が10年もの歳月をかけて生み出したオリジナル品種「銀河のしずく」。

炊き上がりの白さと一粒一粒のつやが銀河のしずくの特徴です。

さっぱりとした味わいとしつかりとした粒感も持つっており、味の濃いおかずやお茶漬けなどの汁物にも最適です。



いわて牛

豊かな大自然と肉牛産地としての伝統に育まれたいわて牛。日本最高のブランドを支えるのは、澄んだ空気と美しい水、本州最大の広さを誇る岩手県の肥沃な大地。そして一頭一頭を慈しむ、畜産農家のきめ細やかな愛情。いわての大自然を父として、つくり手のおもいやりを母として、芸術品ともいわれる美味しさが育てられます。



全農直営の飲食店舗(3店舗)で「岩手県産和牛とお米のフェア」が開催されます。

フェアでは、各店舗で「いわて牛」を使用した特別メニューを提供するほか、期間中提供するご飯が「銀河のしずく」になります。

■期間：5月1日(木)～5月25日(日)

■実施店舗

- みのる食堂三越銀座店(東京都中央区銀座4-6-16)
- 和牛とごはん焼肉じゅん枚方市役所前店(大阪府枚方市大垣内町1-4-10)
- 和牛とごはん焼肉じゅん大阪ドームシティ店(大阪府大阪市西区千代崎3丁目南2-14)

新入職員編

今年度、この6人が新たに仲間入りしました。

- 1 出身地
- 2 趣味・特技
- 3 好きな言葉
- 4 入会前、感じていた“全農”のイメージは？
- 5 社会人としての意気込み



純情人

しまなか 嶋中 いぶき [管理部 純情ブランド推進室]



- 1 青森県青森市
- 2 食べること、映画鑑賞
- 3 「今を大切に」
失敗や後悔はたくさんありますが、今を大切に、全力で生きていけるような人になりたいです。
- 4 日本の食文化を支え、盛り上げているというイメージがありました。お店でも野菜や飲み物などの商品に全農のマークをよく見かけていて、そのマークを見るたびに商品を購入したいと感じていました。また、農家の方々と消費者を結ぶ役割も持っていると感じています。よく、母と地元のJAに野菜を購入しに伺っていました。JAで購入する野菜は新鮮でとても美味しかったです。
- 5 岩手県についてまだ知識が浅く、分からないことも多くありますが、先輩職員の方々を見習い、多くのことを学んでいくことができるよう、精一杯頑張ります。

えんどう りんね 遠藤 凜寧 [園芸部 生産振興戦略室]



- 1 一関市
- 2 料理
- 3 「人間は考える葦である」
1人の人間は弱くとも思考できるという最大の強みがあると思わせてくれるこの言葉に自信を貰ってきました。
- 4 肥料を扱っている会社だと思っていました。実家でよく目にする肥料袋に全農と書いていたためです。実際は肥料に限らず流通など広範な事業を展開していることを知りました。まだまだ私も勉強不足なため先輩や上司に教わりながら全農の事業についての理解を深めていきたいと思っています。
- 5 私自身まだまだ未熟で勉強不足な面も多々あります。業務に関わる知識をすばやく吸収し自分の糧としていきたいです。新社会人で周りにいる方々も年上の方ばかりで緊張しています。ですが物怖じせず先輩や上司とコミュニケーションをしっかりと行い、皆さんのお役に立てよう精進したいと思います。

まつえ てるみち 末永 輝宙 [畜産酪農部 畜産統括課課]



- 1 大阪府枚方市
- 2 読書、コーヒーを飲むこと
- 3 「トライ＆エラー」
研究生活で大切にしていた言葉です。挑戦と失敗を繰り返すことで成長する。そんな風に解釈しています。慎重派でなかなか動き出せない自分を奮い立たせてくれるからです。
- 4 私は「農業の未来のために」というモチベーションで研究活動をしておりましたが、なかなか現場に成果が届かないもどかしさを感じておりました。そのような将来役立つ技術や知見を研究する大学等の研究機関とは異なり、全農は生産者の方々と消費者の方々が抱える「現在」の課題を「近い」距離で解決する組織というイメージを持っていました。
- 5 私は同期の皆さんとは異なり、かなり年上の新卒入会者です。社会人としては全く経験がなく、同世代には遅れを取っていることは自覚しております。一方で長い大学生活の中で、未知の課題に立ち向かうことで身に着けてきた経験と精神力を生かして、生産者の方々と消費者の方々のお力になれるよう尽力していきますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

いとう そうた 伊藤 壮汰 [畜産酪農部 畜産販売課]



- 1 花巻市
- 2 釣り、バイク、野球
- 3 「逆境こそ覚醒のとき」
壁にぶつかったときこそ自分が成長するチャンスだという意味だからです。
- 4 日本の「食」を支えている組織。スポーツ大会やチームのスポンサー。
- 5 まずは仕事を覚えることを目標とし、岩手の「食」を盛り上げていけるように頑張ります。よろしく願いいたします。

おおた なおき 太田 直希 [米穀部 米穀販売課]



- 1 一関市
- 2 野球観戦・ソフトテニス
- 3 「不屈不撓」
自分が通っていた高校の校訓にもなっている四字熟語で、困難に直面してもあきらめることなく、努力を続けたいと思うからです。
- 4 全国規模のネットワークを生かして農業の基盤を支える大きな組織、という印象がありましたが、正直具体的にどのようなことをしている組織かはあまり理解していませんでした。今後、業務を通して全農について色々知っていききたいと思います。
- 5 学生の頃とは比べ物にならないくらい責任が大きくなると考えているので、業務に対する姿勢や態度を常に意識していきたいです。慣れない、わからないことばかりですが、常に自分を成長させられる機会だと思いながら業務に励みたいと思います。1日でも早く皆さんのお力になれるよう頑張ります。

むとう まお 武藤 舞桜 [園芸部 県央園芸センター]



- 1 盛岡市
- 2 スポーツ観戦。特に野球観戦が好きで、球場に足を運んでいます。毎日ドジャースだけは欠かさずチェックしています。
- 3 「全身全霊」
全力で自分のできる限りのことをやっても必ず実を結ぶとは限りませんが、できる限りのことにできるだけ挑戦したいという気持ちがあります。
- 4 とにかくお米のイメージが強かった印象があります。あとは流通センターを通るときにここは何をするところだろう?とっていました。現在は不慣れですが車通勤で支援センターに通っています。少しずつではありますが業務を通じて、ここでは何をしているのかという疑問が解消しつつあります。
- 5 少しずつ自分のできることを増やすことで、生産者や消費者、業務に携わる多くの人の力となり貢献できるようになります。今は周りの方に頼りながら、教えていただいたことを吸収し日々の業務に尽力していきたいです。

いわて純情米消費拡大月間フェア

■期間：4月29日(火)～5月29日(木)

■実施店舗

- みのるダイニングフェザン盛岡店(盛岡市盛岡駅前通1番44号)
- 銀河離宮(盛岡市菜園1-14-10 第一産業会館1階)



全農直営の岩手県内の飲食店舗(2店舗)で「いわて純情米消費拡大月間フェア」が開催されます。岩手県や全農岩手県本部で構成するいわてのお米ブランド化生産販売戦略推進協議会が、(一社)日本記念日協会に申請し、令和5年1月12日に正式登録となった銀河のしずくと金色の風の記念日にあわせ、4月29日(銀河のしずくの日)から5月29日(こん(金)じ(き)の風)の1か月間を「いわて純情米消費拡大月間」として、いわて純情米の認知度向上・消費拡大のPRに取り組んでいます。

フェア期間中、お食事メニューご注文でご飯のお代わりが無料になるほか、先着250名様(各店舗)に「いわて純情米」のノベルティをプレゼントします。

銀河のしずくの日

4/29

金色の風の日

5/29

おかわりあると思います！

いわて純情米

4/29から5/29は
いわて純情米
消費拡大月間

【銀河のしずくの日】 4/29～5/29 【金色の風の日】

JA全農いわて | いわてのお米ブランド化生産販売戦略推進協議会





2025/ いわて純情むすめ募集

純情産地いわての
魅力を全国に伝えてみませんか

IWATE JUNJO-MUSUME AUDITION

2025いわて純情むすめ募集要項

【応募資格】
①2025年7月1日現在で、満18歳以上の健康で明るい女性。既婚未婚は問いません。
※但し高校生は除く。
②岩手県在住者で、自薦他薦は問いません。
③業務委託する1年間で県外に転居する予定のない方。
④業務委託する1年間を通して、県内外で開催するイベント・販売促進活動・メディア出演・テレビ番組出演等各行事のほか、研修等に隔日を問わず参加・協力できる方。

【応募方法】
JA全農いわてホームページ内の応募フォームからご応募できます。
必要事項 ①身長 ②志望の動機 ③趣味・特技 ④自己PR
⑤いわて純情むすめや岩手県産農畜産物へのイメージ
⑥いわて純情むすめになってやってみたいこと
⑦応募を知った広告媒体を必ずご記入の上、

 3か月以内に撮影した鮮明で加工されていないカラー写真「正面向きの全身写真・顔写真(顔のはっきり分るもの)それぞれ1枚ずつ」を添付ください。

※お写真の個人情報は当会にて適切に管理し、審査の目的で利用いたします。審査以外に開示することはありません。応募者以外の個人情報については「個人情報保護法」における個人情報データベース等(第23条)に当たらないものとさせていただきます。

【応募締切】 2025年5月25日(日) 23:59まで
【審査人員】 5名(予定)
【審査方法】
①第1次選考……………書類審査により20名程度を選考。結果は書面にて通知いたします。
②最終選考……………面接審査(私服着用)により選考。2025年6月5日(木)(予定)
③事前研修……………2025年6月11日(木)・12(木)(予定)
④認定式……………2025年6月27日(金)(予定)
⑤報道機関訪問・写真撮影……………2025年6月30日(月)(予定)
※原則、上記日程に参加できる方 ※選考方法は変更となる場合があります

【活動期間】
2025年6月(準備期間) 2025年7月1日～2026年6月末日
【当日】
当会規定に基づき、業務の都合等および交通費・宿泊費を支給いたします。
ただし、事前研修は当日の支払いはありません。

【応募方法】
JA全農いわてホームページ内「2025いわて純情むすめ」
応募フォームからご応募ください [JA全農いわて](#) 

賞品

①応募者全員
みのるダイニングお食事券
1,000円分

②第1次選考通過者(最終選考出席者)
みのるダイニングお食事券
3,000円分

③採用決定者
正賞 認定証(記念盾)
副賞 VISAギフトカード(5万円分)
・みのるダイニングお食事券(1万円分)
・JAタウンいわて純情セレクト
ギフトカード(1万円分)

情報配信中 純情むすめの活動はSNSで配信中!

主な活動実績なども
ご覧いただけます!

  





お問合せ先

〒020-8605 盛岡市大通一丁目2番1号サンビル4F
JA全農いわて管理部純情ブランド推進室「2025いわて純情むすめ」事務局

TEL.019-626-8629

受付時間 9:00～17:00まで
(土・日・祝日を除く)

編集後記

クララ3年振りの担当となります星と申します。
全農いわてへの理解を深めて頂けるような紙面づくりを目指します。
「クララいいね!」そんな声をいただけると嬉しいです。よろしくお願いします。(星)

KLARA

タイトルのKlara(クララ)は、宮沢賢治の手帳にのっている言葉で、エスペラント語で「晴」「暖かい」を意味します。
全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかにという願いが込められています。



私たち全農グループは、
**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋**
になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

JA 全農いわて 純情ブランド推進室

JA 全農いわて ホームページ

〒020-8605 盛岡市大通一丁目2番1号 TEL019-626-8629 FAX019-626-8634

<https://www.junjo.jp>